

アダム ー神の使い 悪魔の子ー (2004)

GODSEND

メディア 映画

ジャンル ホラー ミステリー ドラマ

製作国 アメリカ/カナダ

色彩 Color

時間 102分

初公開日 2006/10/07

公開情報 ザナドゥー

映倫 PG-12

【キャッチコピー】

アダム・ダンカン、1987年誕生。

1995年死亡、享年8歳。

1996年クローン・アダム再生、それから8年…

【解説】

愛するわが子を突然の事故で失った両親が禁断のクローン技術に手を染め、思いも寄らぬ運命を招いてしまうサスペンス・ホラー。出演は夫妻役にグレッグ・キニアとレベッカ・ローミン＝ステイモス。夫妻に協力する博士にロバート・デ・ニーロ。また、夫妻の子どもを演じるのは、本作以降「記憶の棘」や「ウルトラヴァイオレット」などメジャー作への出演が続いている注目の子役キャメロン・ブライト。監督は「穴」のニック・ハム。

生物教師のポールと写真家ジェシーの間にはかわいい息子アダムがいた。だが、8歳の誕生日を迎えた翌日、アダムは交通事故で死んでしまう。悲しみに暮れる夫妻の前に、遺伝子学者ウェルズが現れ、クローン技術によるアダムの再生を持ちかける。決して許されることではないと知りつつも、言いようのない喪失感に苛まれる夫妻は、ついに博士の提案を受け入れるのだった。やがて無事に生まれたアダムは、その後も順調に育っていった。しかし、8歳の誕生日を迎えた頃から、アダムは徐々に不可解な言動が目立ち始める…。

【クレジット】

監督	ニック・ハム	Nick Hamm
製作	マーク・バタン	Marc Butan
	ショーン・オキーフ	Sean O'Keefe
	キャシー・シュルマン	Cathy Schulman
製作総指揮	マイケル・バーンズ	Michael Burns
	マーク・キャントン	Mark Canton
	マーク・キューバン	Mark Cuban
	ジョン・フェルトハイマー	Jon Feltheimer
	エリック・コペロフ	Eric Kopeloff
	マイケル・パセオネック	Michael Paseornek
	トッド・ワグナー	Todd Wagner
脚本	マーク・ボンバック	Mark Bomback
撮影	クレイマー・モーゲンソー	Kramer Morgenthau
プロダクションデザイン	ダグ・クラナー	Doug Kraner

衣装デザイン

編集

音楽

出演

スザンヌ・マッケイブ

Suzanne McCabe

ニーヴン・ハウイー

Niven Howie

スティーヴ・ミルコヴィッチ

Steve Mirkovich

ブライアン・タイラー

Brian Tyler

グレッグ・キニア

Greg Kinnear

ポール・ダンカン

レベッカ・ローミン=ステイモス

Rebecca Romijn-Stamos

ジェシー・ダンカン

ロバート・デ・ニーロ

Robert De Niro

リチャード・ウェルズ博士

キャメロン・ブライト

Cameron Bright

アダム・ダンカン

ラウル・バネジャ

Raoul Bhaneja

デボラ・オデル

Deborah Odell

ジェニー・レヴィン

Jenny Levine